

## 「分子生体応答研究分野セミナー」を開催

2019年7月19日

7月19日（金）、金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室において、東京理科大学 生命医科学研究所 准教授 上羽悟史 先生をお招きして、分子生体応答研究分野セミナーを開催しました。

セミナーでは、「抗 CD4 抗体療法：がん免疫治療におけるドグマへの挑戦」という演題で、マウスモデルから臨床治験までの一連の抗 CD4 抗体療法の開発について、消化器がん患者を対象にした第 1 相臨床治験で得られた結果も含めて講演していただきました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約 20 名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



# 分子生体応答研究分野セミナー

**日時:2019年7月19日(金)17:00~18:00**

**場所:がん進展制御研究所・会議室(4階)**

**演者:上羽 悟史先生**

**(東京理科大学・生命医科学研究所・准教授)**

**演題名: 抗CD4抗体療法:がん免疫治療における  
ドグマへの挑戦**

腫瘍排除には腫瘍特異的なCD4<sup>+</sup> T細胞とCD8<sup>+</sup> T細胞の協働が必要と考えられてきました。上羽先生らのグループは、マウス皮下腫瘍モデルでの解析から、抗CD4抗体投与によって、CTLA-4を高発現するTregの除去・遊走性樹状細胞(mDC)における共刺激分子の発現回復・腫瘍所属リンパ節での腫瘍特異的CD8<sup>+</sup> T細胞の増殖応答とクローンの増加が起き、その結果cancer-immunity cycleが促進されることを見いだしました。これらの知見に基づいて行われた、消化器がん患者を対象にした抗ヒトCD4抗体のfirst-in human第1相臨床治験にて、ヒトにおいてもマウスと同様の免疫応答が起きている可能性を示唆する所見が得られました。本セミナーでは、マウスモデルから臨床治験までの一連の抗CD4抗体療法開発の試みが紹介される予定です。

多くの方のご来聴を歓迎いたします。

向田 直史(分子生体応答・内線6735)